

## 基本的な指導内容 ~思いつくままに~

- 1 式には、「 $2 \times 3$ 」と「 $2 \times 3 = 6$ 」の2種類あることを教える。「 $2 \times 3 =$ 」は式ではない。  
\*テストで「式」のスペースには、答えを書かせない方が得策
- 2 式は、問題に提示された数をそのまま使用しなければならないことを教える。  
\*問題(文)をそのまま算数の文章にしたものが「式」
- 3 式が複数ある際、最後の式が自分の考え方を示していると教える。  
\*  $25 + 15 = 40$      $40 \times 2 = 80$     ……かけ算で解いた  
\*  $25 \times 2 = 50$      $15 \times 2 = 30$      $50 + 30 = 80$     ……たし算で解いた
- 4 できる(簡単な)形や数に置き換えれば、新しい問題も解決(立式)できると教える。  
\*  $2/3$ 分間に $5/4$ リットルたまる水道は、1分間に何リットルたまるか?  
(2分) に (4リットル) だと、 $4 \div 2 \dots$ という式になるから、と見通す
- 5 問題解決に活用させるべき既習は、最も新しく学習した内容とすること。  
\* 既習の活用は何でも「習ったことを使えたね」としない
- 6 図をかかせる目的は3つ。「図をかいて考えなさい」と全員に指示しない。  
\* ①問題場面を把握する図    ②答えをみつける図    ③考えを他者に説明する図
- 7 方法や手段を問わず、まず試行させる。  
\* 自由にさせて個の状況を見極め、その状況に応じて支援を考える。
- 8 複数の考え方を交流させる際、同じところを発見させる指導をするのが算数の役割(原理原則を見極める)
- 9 学習課題(導入の課題)「三角形の面積を求めよう」は、学習問題(個々が設定したもの)へ高める。例;「底辺と高さに関係ありそうだ」「平行四辺形の公式を利用すれば三角形も……」「できる形に変形すれば……」
- 10 まず、言葉で表現させて(書かせて)みる。複雑さを味わわせて表現をつくらせる。そして、記号化するよさを感じさせる。(共通の約数の中で一番大きい約数→最大公約数)……無駄のない簡潔な表現(記号で処理)が算数学習
- 11 可能な限り合理化して考えさせる。……関心・意欲・態度の指導と評価となる。  
\* 「もっと簡単にできないか」「もっとはやくできないか」「もっと正確にできないか」と常に考えさせ、追究させる
- 12 解決後、「このアイデアがどこまで通用するのか」「次に何ができそうか」「次に解決しなければならない内容は何か」と、問い続ける。(活用・拡張)
- 13 数字は4年で「斜体」となる。……縦  $7mm$  横  $4mm$  程度の大きさが基本( $5mm$ 方眼に1数字程度)